

令和 2 年度 兵庫県立高砂高等学校 学校評価 報告

I 本年度学校評価について

1 年間計画について

- 7 月 第 1 回 学校評議員会で今年度の重点目標を報告
- 10 月 保護者・生徒アンケート・職員アンケート 実施
- 12 月 学校評価委員会アンケート結果の分析
- 3 月 第 2 回 学校評価委員会にて総括、学校関係者評価の依頼・回収

2 年度総括

学校評価についてほぼ良好な評価をいただいているが、分析結果により下記の点が次年度にむけての検討課題として、学校評議員会で共通理解した。

- (1) 学校評価の評価項目の見直しが必要。
- (2) 地域と連携したキャリア教育の推進。
- (3) GIGA スクール構想への対応。
- (4) 学校の指導方針の共通理解を図る。

3 別紙資料

- ・令和 2 年度 学校評価のまとめ

II 学校関係者評価について

1 学校経営の重点項目についての評価

「非常に評価できる」「評価できる」「普通」「あまり評価できない」「評価できない」を 5,4,3,2,1 の数値で換算しました。良好な評価をいただいている。

学校経営の重点項目	平均評価点
探究活動を取り入れた授業をとおして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を育成する	4.5
学力の向上に向けた学習指導の充実を図る	4.0
地域と連携したキャリア教育を推進する。	3.0
家庭や地域社会との連携を深め、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。	3.3
教職員の資質を向上させていく。	3.6

2 今年度全般に対するご意見

- ・自己評価の質問項目の整理が必要でないか。目標に対して達成度、改善点を把握できるように質問項目を更新することが、自己評価する上で大切である。
- ・自己評価で、よくできていないところをどう対応していくのか、今後どうしていくかの報告が不十分なところを感じた。
- ・奉仕活動を大事にする生徒の育成を期待している。将来、ひとり 1 台の PC 機器購入の際、情報機器が購入できない家庭に対する対応をよく検討願いたい。